

これからの当たり前。中小企業のSDGsへの向き合い方

第2回 みやづSDGs 企業フォーラム

～市内の身近な事例から学び、地域の学生・企業・行政が
一緒になって、みんなでSDGsに取り組もう！～

日時

12月18日(水)
13:00～15:30

定員50名様 参加無料

場所

宮津市福祉・教育総合プラザ
第1コミュニティールーム
【ミップル3F】

主催／共催

宮津商工会議所／宮津市

申込方法について

裏面の申込書をFAX等いただくか、
下記の二次元コードよりお申込ください。

《お申込み・お問い合わせ》

宮津商工会議所

TEL.0772-22-5131

〒626-0041 宮津市鶴賀 2054-1

★講師プロフィール・申込書は裏面をご確認ください。

申込用
二次元コード

第一部 基調講演

「SDGsはどうすれば伝わるか」

総合地球環境学研究所 広報室
特任専門職員 竹腰 麻由氏

第一部

第二部 宮津市内のSDGs取組事例紹介

- 株式会社三洋商事
- メルキュール京都宮津リゾート&スパ
- 京都府立海洋高等学校 [学生発表]

第二部

第三部 パネルディスカッション

司会：福知山公立大学 地域経営学部
准教授 杉岡 秀紀氏

- パネリスト：
- 竹腰 麻由氏
 - 株式会社三洋商事
 - メルキュール京都宮津
リゾート&スパ
 - 京都府立海洋高等学校

第三部

市内事業者等の取組の実情を聞きながら、参加者と一緒
に取組の深化に向けて議論を深めたいと思います。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



竹腰 麻由氏

総合地球環境学研究所 広報室 特任専門職員

岐阜県出身。大学院にて有機化学の研究に従事、その後化学メーカー研究員を経て、2018年より日本科学未来館 科学コミュニケーター。市民参加型の実証実験や、プラスチック問題に関するトークイベント、飛沫シミュレーションに関する展示など、社会において科学・技術に関する対話を促進するための多数のイベント・展示を企画、実施。2023年より現職。地球環境問題に関する研究についての広報を担当し、一般向けのトークイベント・ワークショップや、SNSでの発信、学会や地方での展示会、記事の執筆等を行っている。



杉岡 秀紀氏

福知山公立大学 地域経営学部 准教授

奈良県生まれ。同志社大学経済学部卒業、同大学院総合政策科学研究科修了。内閣官房行政改革推進本部事務局参事官付、同志社大学嘱託講師、京都府立大学講師（専任）を経て、2016年から現職。大阪公立大学大学院・島根県立大学非常勤講師、総務省主権者教育アドバイザー、厚生労働省地域雇用活性化推進事業地域支援アドバイザー、宮津市地域創生SDGs推進アドバイザーも務める。専門は自治体政策、地方自治。自治体学会評議員・企画部会委員・近畿自治体学会運営委員、日本協働政策学会理事、産学連携学会学術誌委員会委員・地域連携教育研究会代表。主な著書に『これからの話し合いを考えよう』（ひつじ書房、2020、分担執筆）、『自治・分権と地域行政』（芦書房、2021、分担執筆）ほか。また、日刊建設工業新聞、北近畿経済新聞で毎月コラムを連載中。



宮津市でのSDGsの動き



宮津市がSDGs未来都市に選定される

宮津市は、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市として、「SDGs未来都市」に選定されました。

「SDGs未来都市」は、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に経済・社会・環境の三側面における新しい価値の創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるものです。

これまでに全国で206の自治体が選定され、京都府内では、5市が選定されています。

宮津市SDGs未来都市計画の推進

令和5年8月に「日本三景天橋立のあるまち宮津の未来へつなぐチャレンジ」として、SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進をテーマに「宮津市SDGs未来都市計画」を策定し、持続可能で魅力あるまちづくりに向け、各施策を推進しています。



詳しくは、市HPをご参照ください。

第2回 みやづSDGs企業フォーラム 申込書 (12月18日)

申込日： 月 日

FAX：0772-25-1690

事業者名(団体名)		電話番号	
参加者名①			
参加者名②			

※ご記入いただきました個人情報、本フォーラム運営以外の目的で使用することはありません。